

垣生校区まちづくりタウンミーティング 開催結果報告書

開催日時 令和7年8月26日（火）19時00分～19時53分
場所 垣生公民館
司会・進行 垣生校区連合自治会事務局長
参加者数 男48人 女12人 合計60人



1. 市の重点事業に関する質問

質疑なし

2. 校区課題

災害時のために必要な場所への防災倉庫の設置について

（質問者）

予算の問題はあるだろうが、防災備品をいつでも利用できるという状況があれば地域住民の安心に繋がる。これからは、自分達の命は自分達で守るという意識を高める取組が必要になるとの思いで提案したのでご理解いただきたい。

（質問者）

自治会を辞めていく人も多い中で、行政として自助を意識させる事業が必要だと思う。みんな自分達の地域を守るという意味での提案なので、前向きに取り組んでいただきたい。

(危機管理監)

防災倉庫を約 300 ある単位自治会に設置するとなると、現実的には大変な予算が必要となり厳しい状況である。食料はまず自分で用意していただくということを前提に、自助と共助の意識について、市民の皆さんへ啓発していけるように努める。

3. その他

(質問者)

市長説明の中で、18 歳から 24 歳の年代が大学進学等で出て行くのは仕方ないとしても、出た人達が帰ってくるように、四国でも住みやすいとか認められている面もある中で、新居浜に誇りを持てるような小中学校での教育も必要だと思うが。

(市長)

最近シビックプライドとよく言うが、若い世代にふるさとへの誇りや愛着を持ってもらうことが大切だと考えている。小中学生には、SDGs や産業遺産に関して学ぶ機会、副読本などで郷土に関する教育等があるので、将来的にもし市外県外に出ても、やっぱり新居浜に戻りたいと思ってもらえるような、教育、まちづくりを目指していきたいと思っている。

(質問者)

防災士について、制度が始まって 10 数年だが、新居浜市独自の防災士のスキルアップ研修会はたぶんしていないと思う。予算がないということだが、自助共助というのであれば、何らかの研修会等をやっているという姿勢が必要だと思う。南予の方は危機感が全く違う。新居浜市民は比べると何とかなるというイメージを持っている方が多いが、市が率先し、もう少し啓蒙的な活動が必要だと思う。

また、いかにして生き残るかということ、やはり小中学校、幼稚園から教育していくべきじゃないかと思う。

あと、今、市が避難所運営マニュアルを作成しようとしているが、応急危険度判定については、ある程度の指針を出していただかないと、誰も責任を取れないのではないかと思います。その辺をまたご検討いただきたい。

(危機管理監)

防災士スキルアップ研修については、市役所職員と気象台とで今年度実施しようと取り組んでいるところである。

また、避難所運営マニュアルについて、避難所の安全確認に関し、確かにおっしゃる通り明確なものがなく、他市町では判断ができるように作っているところもあり、検討を進めてまいりたいと考えているので、今しばらくお待ちいただきたい。

(質問者)

市長公約について、近隣にはない機能を有するアリーナの建設とあるが、昔は総合運動公園を建てるような話もあった。アリーナ建設地については、JA の本社も完成し、経済センターが駅のすぐ南に隣接しているため、あそこを何とか譲ってもらって建てれば、交通の機

能がとてもよく、あかがねミュージアムとも隣接するが、いかがであるかご意見を伺いたい。

(市長)

大きな投資をする時というのは、新居浜市をどのように発展させるかという事をしっかりと考えた上でやっていかなければならないと考える。町の生き残りをかけた都市間競争がもっと激化し、魅力のある町でなければ、人口も流入してこないと思うため、おっしゃられる通り、しっかりとした物の建設を目指したいと考えている。

市長まとめ

本当に皆さんの防災意識の高まりというものを、今日は感じさせていただいた。

予算が無い中、本当に残念な答えばかりになってしまうが、なるべく財政状況を好転させて、前向きな話をどんどんしていけるように頑張っていきたいというふうに思っているので、どうぞよろしくお願い申し上げます。